

財 政

歳 入

平成22年度の一般会計歳入決算額は7,246億円で前年度に比べ474億円(6.1%)減少しました。

財源別にみると、県税2,022億円(構成比27.9%)、地方交付税1,451億円(同20.0%)、県債1,480億円(同20.4%)、国庫支出金910億円(同12.6%)などとなっています。

図65 歳入決算額の財源別構成比

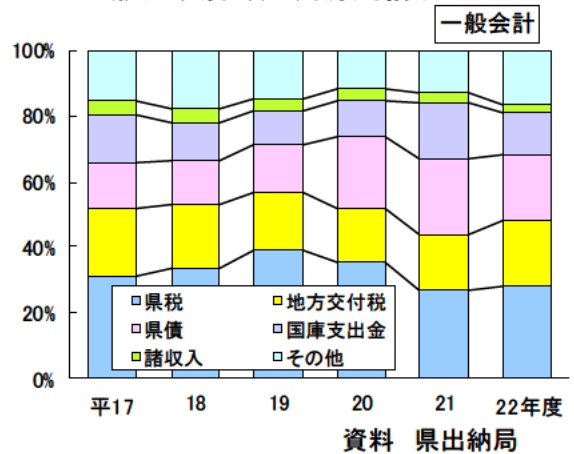
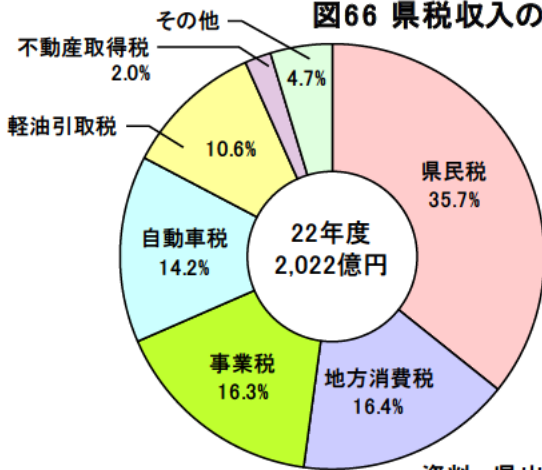


図66 県税収入の構成



県 税

平成22年度の県税収入額は2,022億円で、前年度に比べ73億円(3.5%)減少しました。

税目別にみると、県民税722億円(構成比35.7%)、地方消費税332億円(同16.4%)、事業税330億円(同16.3%)、自動車税287億円(同14.2%)、軽油引取税215億円(同10.6%)、不動産取得税41億円(同2.0%)などとなっています。

歳 出

平成22年度の一般会計歳出決算額は7,038億円で前年度に比べ508億円(6.7%)減少しました。

目的別にみると、教育費1,754億円(構成比24.9%)、土木費923億円(同13.1%)、公債費950億円(同13.5%)、民生費896億円(同12.7%)、総務費585億円(同8.3%)、警察費398億円(同5.6%)、農林水産業費405億円(同5.8%)などとなっています。

図67 歳出決算額の目的別構成比

